



ご存知 ですか？

心理療法士④

(心理療法士 脇坂 陽子)

心理療法士(臨床心理士)は精神科と健康管理科で、心の健康について心理学の立場から援助する仕事をしています。

その中から今回は、精神科の外来・病棟を担当する心理療法士の、ある一日をご紹介します。

8:30

病棟の朝の申し送りに参加

朝の申し送り(入院患者様の前日から朝までの経過報告と、当日の予定や治療方針の確認)に、医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士とともに参加します。

9:00

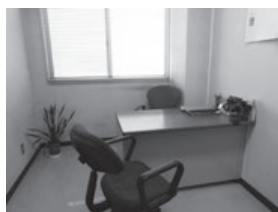
病棟でその日の集団療法の打ち合わせ・準備

その日の集団療法の担当者と集団療法の具体的内容を確認し、役割分担を決め、必要なものを準備します。

9:15

外来で心理療法

主に思春期の患者様を対象に、お一人1回50分の心理療法を行います。(予約制)



心理室



プレイルーム

12:30

昼休み

13:30

病棟カンファレンスに参加

入院患者様の経過と治療方針について、医師、看護師、精神保健福祉士、作業療法士、心理療法士で話し合います。

14:00

病棟で集団療法

入院患者様を2つのグループに分け、グループごとに話し合いを行います。心理療法士がリーダーをつとめるグループではその時の気持ちを中心に話し合い、自分について考えます。(集団療法の内容は曜日ごとに決まっています。)
終了後に参加スタッフ全員で振り返りミーティングを行い、カルテに記録します。

16:00

外来で親ガイダンス

思春期患者様の親御様を対象に、一組1回50分程度の親ガイダンスを行います。(予約制)

17:00

外来で記録作成など

17:15

終業

心理療法士は外来通院されている患者様とお話したり、病棟の入院患者様とグループ活動することを通して、心理療法を行います。

個人の心理療法では「学校に行けない」「友だち関係で悩んでいる」「人の目が気になる」「太るのがこわい」「何もやる気が起きない」など、思っていることを自由にお話しいただき、そうした状態を解決する方向へ考えていきます。グループでの集団療法では、集団のなかで自分を表現し、自分自身や人間関係について体験を通じて理解を深めます。

また、親ガイダンスでは思春期のお子さんの心の状態や、親としてどう関わったらよいかなどについて具体的に助言します。

こうしたさまざまな治療により、患者様お一人お一人が心の健康を回復し、生き生きとお過ごしになれる日が来るよう、日々努めています。



精神科外来受付